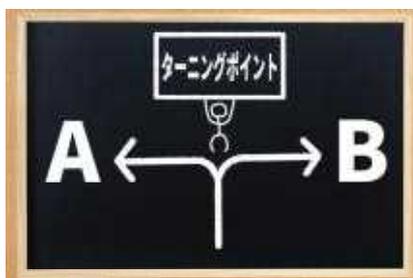


	進取の気概 (校長室だより)	有田市立箕島中学校 自主 友愛 剛健	R3・7・19
			No.23

アクセル、ブレーキ、ハンドル

目の前にゴミが落ちていたとします。「きれいな方が気持ちがいいので拾っておこう」と思えばゴミを拾うし、「誰かが拾ってくれるだろう」と思えば拾わずにそのままにしておきます。私たちが何らかの行動を起こすときには、まず「〇〇だからこうしよう」と考えてから実際の行動に移します。行動する前に「考える」というステップを踏んでいるということです。

今日はなんだかやる気が出ないな、やりたくないなと思うことでも、それをしなければならぬときは、「やっぱりがんばってやろう」と心の中で踏ん切りをつけたり、自分で自分を元気づけたりして行動に移します。車がアクセルを踏むと前に進むように、「心のアクセル」を自分の意思で踏んで行動に移しているのです。このように「心のアクセル」は行動するための原動力となる大切なものです。しかし、アクセルを踏み続けると車のスピードがどんどん上がって行って、大きな事故につながる危険性も高くなります。自分や他の人が傷ついたり、迷惑をかけてしまうことにもなりかねません。だから、アクセルと同じでブレーキも大切です。私たちの行動でいうと、「これは行き過ぎていないか」「人を傷つけてしまうのではないか」「人に迷惑をかけるのではないか」と自分に問いかけて、自分の行動に制限をかけることです。「心のブレーキ」です。「心のアクセル」と「心のブレーキ」を正しく使い分けて行動することが大切です。



それからもう一つ大切なものが「ハンドル」です。アクセルとブレーキをうまく使って車を運転しても、ハンドル操作を誤ると、衝突してしまったり、目的地に着くことができません。私たちの行動でいうと、「正しい方向に進んでいるのだろうか」「引き返すべきではないのか」と自分に問いかけて、正しい方向に自分の行動を修正することです。

「心のアクセル」、「心のブレーキ」、「心のハンドル」、この3つを正しく使って行動する。難しい言葉になりますが、自分で自分自身を指導してコントロールをすることが大切です。日々一つ一つの行動の積み重ねが一本の線となって、その人の人生となっていきます。明日からの夏休み、「心のアクセル」、「心のブレーキ」、「心のハンドル」、この3つを意識して、充実した生活を送ってほしいと思います。